

とやま

県広報とやま

2002

1
月号

各世帯配布版 No.390

富山県

特集 県政2001 一年のできごと

クローズアップ 平成13年度 県政世論調査



設計段階から取り組んだ初めての本格住宅を建築する富山国際職芸学院の建築職科五期生の学生たち



富山県知事

中 沖 豊

日本の元気は 富山から

明けましておめでとうございます。県民の皆様とともに二〇〇二年の初春を寿ぎたいと存じます。また、昨年、敬宮愛子内親王殿下がご誕生になりましたが、「新世紀プリンセス」として健やかにご成長されますことを心からお祈り申し上げます。

さて、二十一世紀に入り、アメリカにおいて同時多発テロ事件が発生するなど、時代はますます先行き不透明となり、まさに「激変と混乱の時代」を迎えています。

こうしたときこそ、時代の流れを的確に見定め、未来への明確なビジョンとゆるぎない信念を持って、新しい時代を切り拓いていかなければなりません。

このため、富山県では、昨年、多くの県民の皆様の方知を集め、二十一世紀初頭の県づくりの指針として「富山県民新世紀計画」を策定しました。計画では、「水と緑といのちが輝く 元気とやま」を基本目標に、豊かな自然や快適な生活環境、多様な文化と産業、積極進取の県民性など、本県の特徴を活かしたオンリーワンの県づくりを進めることとしています。

今後とも、「人材」「生活」「環境」「産業」「国際」の五つの立県構想のもと、県民の皆様と力を合わせ、「日本の元気は富山から」の気概をもって、元

気でしあわせな富山県の創造に全力を尽くしたいと存じます。

そして、当面の課題として、次の三つに取り組むたいと思います。

第一に、元気な県づくりです。特に、明るく元気な子どもや高齢者などの人づくり、恵まれた自然環境や生活環境などの住みたい県づくり、景気の低迷に伴う経済・雇用対策などの活力ある産業づくりを進めます。

第二に、新世紀の発展基盤づくりです。環日本海交流の中央拠点をめざすとともに、北陸新幹線や高速道路、情報基盤の整備などを進めます。

第三に、緊急課題の解決です。市町村合併や国立大学の改革再編、牛海綿状脳症(BSE)対策、危機管理対策などに適切に対応します。

また、これらの施策を着実に実行していくため、住民と地方が主役となる「地方集権」や、簡素で効率的な行政運営をめざす「行財政改革」を強力に推進していきます。

今年、午年。「天馬、空を行く」のたとえもあります。二〇〇二年に、県民の皆様が元気に活躍し、富山県が日本の先駆けとなって大きく飛翔しますよう願ってやみません。

皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈りしまして、新年のあいさついたします。

県政 2001 一年のできごと

西暦2001年。新世紀の幕開けの昨年、富山県では、「水と緑といのちが輝く 元気とやま」を基本目標に、本県の特徴を活かしたオンリーワンの県づくりを進める、富山県民新世紀計画がスタートしました。この計画の政策の柱である「人材」「生活」「環境」「産業」「国際」の五つの立県構想に沿って、昨年一年間の県政を振り返ってみましょう。

オンリーワン/唯一のもの。他に類のない独自のもの、個性的なもの。

1 人材立県

元気とやまの推進

元気あふれる富山県を実現するため、六月に元気に富山推進会議を設置。笑いをテーマにした写真展「とやまスマイル展」を開催するとともに、県民の自主的な元気活動に対し助成する「元気に富山」県民活動支援制度を創設するなど、県民の元気活動を支援しました。



とやまスマイル展のグランプリ作品「夫婦」

三歳児の親子が自然体験や共同宿泊を通して子育てを学ぶ3歳親子体験モデル事業を実施するとともに、社会に学ぶ14歳の挑戦事業を全中学校に拡充して実施するなど、健やかな青少年の育成に取り組みました。



世界五カ国の高校生が集い、環境保護について考える高校生国際環境サミットを開催するなど、高校生の創造力を高め、自主的活動や社会参加を進める高校生新世紀きらめき事業を実施しました。



た。

男女がお互いを尊重しながら個性と能力を発揮できる社会の実現をめざし、富山県男女共同参画推進条例を制定しました。

ボランティア・NPO活動活性化のための指針を策定するとともに、県民ボランティア総合支援センターでの相談体制を強化するなど、活動しやすい環境の整備を進めました。

市町村が行う総合型地域スポーツクラブの育成を進めるなど、誰もがスポーツに親しめる環境づくりに努めました。また、2000年とやま国

体で活躍した選手等を中学・高校に派遣し、運動部活動の活性化を図りました。



部活動で国体選手の指導を受ける高校生

教育・生涯学習の推進

小学校低学年の多人数学級に担任を補助する非常勤講師を配置し、個性を尊重したゆとりある教育を進めました。

新川みどり野高校、となみ野高校が四月に開校。県民生涯学習カレッジ地区センターを併設した生涯学習校としてスタートしました。

科学と文化の振興

とやま科学技術週間(7/21~8/10)を設けロボットをテーマとした青少年向けの科学講座、英国科学実験講座を開催するなど、科学技術を担う人材の育成に努めました。



日本、中国、韓国、インドの劇団の参加のもと、第八回ベセト演劇祭が八、九月に開催され、アジアの最先端の舞台芸術が競演しました。



II 生活立県

地域総合福祉の充実

地域ぐるみで支え合う福祉活動の取り組みを支援するとともに、県有施設のバリアフリー化を図るなど福祉のまちづくりを進めました。



五福公園(富山市)に整備したベビーシート付き車いす用トイレ

痴呆予防体操の開発や市町村が行う痴呆予防教室への支援、NPO法人が行う痴呆性老人グループホームの整備に対し助成するなど、痴呆性高齢者への総合的な支援対策に取り組みました。

安全で快適な暮らしの実現

テロ発生時の連絡体制の整備、空港・港湾や水道施設等の安全管理、不審郵便物への対応など、緊急対応と相互の連携強化について確認する富山県テロ対策連絡会議を設置しました。

平成三年から整備を進めてきた神通川左岸流域下水道が、七月に流域内の全市町村で利用できることになりました。

交通・情報通信体系の整備

北陸新幹線上越・富山間の工事実施計画の認可を受け、五月に同区間の建設工事が着工しました。



能越自動車道の氷見・高岡北IC間が五月に着工。東海北陸自動車道の五箇山・白川IC間の平成十四年度中の開通をめざして工事が進められました。

地方バス路線維持に対する新たな

県単補助制度を創設したほか、市町村の公共交通活性化の取り組みを支援するなど、生活路線の維持確保に努めました。また、今年四月から万葉線を運行する万葉線株式会社に対し、円滑な経営が行われるよう、高岡市、新湊市とともに出資しました。



パソコンの基本操作を学ぶIT講習を二月から開催しました。



また、県のホームページ上での条例や規則等の検索・閲覧サービスや各種申請様式のオンライン提供サービスを四月から実施するなど、電腦県庁の実現に向けて取り組みました。

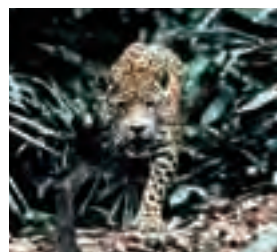
III 環境立県

環境の保全と創造

地域で地球温暖化防止の普及・啓発を行う推進員を養成するとともに、引き続きタイオキシンの環境調査や排出抑制指導を行いました。

世界三大自然・野生生物映像祭の

一つジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル2001が八月に開催され、映像を通して自然環境保護への理解を深めました。



ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル2001 ノミネート作品「ジャガー ソウル・イーター」

県土づくりと富山湾・海洋の利用

ふるおいのある景観づくりを進めるため、富山県の景観を考える懇談会を設置し、本県の今後の景観施策や条例のあり方について検討しました。

有峰の自然や文化を守り伝えるため、有峰森林文化村基本計画の策定に取り組み今年八月の開村に向けて準備を進めました。



新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の深層水の大規模取水技術開発研究に滑川市等と共同で参加し、八月から実験に着手しました。

IV 産業立県

知恵の時代の産業展開

SOHO事業者やベンチャー企業等の小規模事業者の新規創業や事業活動を支援するインキュベーション施設（起業家支援施設）を整備しました。



富山県総合情報センターに整備した富山ビジネスインキュベーション施設

産学官連携による研究公募事業を実施するなど、バイオ分野や深層水等の新商品開発・新事業創出に取り組みました。また、富山湾の深層水を首都圏でPRする深層水フェア、深層水フォーラムを開催するなど、「深層水」といえば「富山」のイメージの確立に努めました。



都内を走るバスの車両を使って富山湾深層水をPR

農林水産業の振興

一定の基準を満たした良質な加工食品に認証マークをつける富山県ふるさと認証食品制度がスタートするなど、県産農林水産物の生産振興と販路拡大を図りました。



牛海綿状脳症(BSE)の全頭検査体制を整えるとともに、富山食肉総合センターでの安全、安心で高品質な食肉の供給体制の整備に努めました。



全国の定置網漁業関係者が参加し水産資源の持続的利用などについて考える定置網新世紀フォーラムが十一月に開催されました。

工業・商業・サービスの振興、雇用の安定

富山県と県内金融機関が金融情勢について意見交換する金融機関ネット

トワーク会議が十月に発足しました。今後、資金供給などによる総合的な中小企業支援対策を進めることにしています。

厳しい雇用情勢に対応するため、富山県総合的雇用対策の見直しを行うとともに、緊急雇用支援アドバイザー派遣制度の創設、構造改革に備えるシンポジウムや大学等合同就職面接会の開催など、雇用の創出や失業者の再就職支援に積極的に取り組みました。

国際立県

国際交流の推進

富山県とアメリカ・オレゴン州との友好提携十周年を記念して友好訪問団が相互に訪問し、両県州の相互理解と友好交流を深めました。



企業や経済団体等による中国遼寧省等への商談ミッション派遣を支援するほか、市場経済実務の専門家をロシア沿海地方に派遣し、交流基盤の整備を図るなど、経済交流の促進に取り組みました。

富山県旅券センター高岡支所(高岡旅券センター)が五月にオープンしました。



環日本海交流の推進

シンポジウムの開催や定期刊行物の発刊などを通して、日本海学の確立・普及に努めました。

日本海学…日本海及び環日本海地域の自然や文化、人と人との交流等を総合学として学際的に研究しようとするもの



日本海学を紹介する『日本海学の世紀』。(社)日本図書館協会の選定図書にも選定。

県政の動き（2001年1月～12月）

- 1月31日 元気に富山推進懇話会 提言発表会
- 2月 1日 富山県情報工房を皮切りに県内でIT講習スタート
- 2月28日 2月定例会議（～3月23日）
- 3月18日 太閤山ランドふるさとギャラリー オープン
- 3月31日 第1回日本海学シンポジウム
- 4月 1日 富山県民新世紀計画スタート
富山県男女共同参画推進条例施行
(財)富山県新世紀産業機構発足
海竜マリンパーク一般供用開始
- 4月 2日 申請・届出様式のオンライン提供スタート
- 4月 9日 新川みどり野高校・とнами野高校開校式及び地区センター開所式
- 5月 7日 富山県旅券センター高岡支所オープン
第5回全国世界遺産都市会議（～8日）
- 5月16日 県民新世紀フォーラム
- 5月19日 能越自動車道水見IC(仮称)・高岡北IC(仮称)間起工式
- 5月20日 第1回富山県障害者スポーツ大会
- 5月24日 小矢部フロンティアパーク起工式
- 5月27日 北陸新幹線上越・富山間建設工事起工式及び建設促進大会（4月25日工事実施計画認可）
- 6月 4日 富山県市町村合併支援連絡会議を設置
元気に富山推進会議が初会合
富山・上海プログラムチャーター便就航
- 6月14日 6月定例会議（～26日）
- 7月 2日 子育てネット!とやま（子育て情報バンク）開設
- 7月 3日 出火率10年連続全国最小記録達成記念 感謝と決意の集い
- 7月 6日 公募：墨画トリエンナーレ富山2001（～9月24日）
- 7月 9日 神通川左岸流域下水道全市町村供用記念式
- 7月19日 環日本海インターハイ親善交流大会（～22日）
- 7月24日 第12回英国科学実験講座（～25日）
- 7月26日 主要地方道富山小杉線 呉羽トンネル開通
参議院議員通常選挙
- 8月 1日 第3回高校生国際環境サミット富山大会（～6日）
- 8月 3日 富山国際アマチュア演劇祭とモナコ世界演劇祭が友好提携締結
- 8月 5日 12歳立山登山（～7日）
- 8月 7日 第6回水シンポジウム in とやま（～8日）
- 8月22日 子どもとやま県議会（本会議）
- 8月23日 ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル2001（～26日）
- 8月24日 第22回北信越国民体育大会（～26日）
- 8月25日 第8回BeSeTo演劇祭（～9月15日）
- 8月30日 知事のまちなまり（大門町）
- 9月 3日 携帯電話用ホームページ「モバイル県庁富山」開設
- 9月 6日 経済・雇用対策について意見交換する拡大経済懇談会が初会合
- 9月12日 9月定例会議（～27日）
- 9月25日 国連環境計画主催の海洋環境保全に関するワークショップ（～28日）
- 9月28日 富山県・オレゴン州友好提携10周年記念式典
- 10月 1日 富山ビジネスインキュベーター施設オープン
- 10月 3日 宇奈月ダム竣工式
- 10月 5日 知事のまちなまり（大山町）
- 10月11日 第8回国際伝統医薬シンポジウム・富山2001（～12日）
- 10月19日 新大長谷第一発電所竣工式
- 10月20日 タウンミーティング in 富山
- 10月22日 金融機関ネットワーク会議が初会合
富山県テロ対策連絡会議を設置
- 10月24日 日本大横断連携フォーラム in とやま
- 10月27日 北東アジア21世紀女性会議（～29日）
- 10月31日 知事のまちなまり（朝日町）
- 11月 4日 市町村合併をともに考える全国リレーシンポジウム2001 in 富山
- 11月10日 定置網新世紀フォーラム（～11日）
とやまスマイル2001
- 11月12日 がおり風景100選(環境省認定)に県内から「富山の和漢薬のかがり」
「砺波平野のチュウリップ」
「黒部峡谷の原生林」が選定
- 11月13日 知事のまちなまり（高岡市）
- 11月23日 2001ボランティア国際年とやまフォーラム（～25日）
第1回世界子どもモノづくりロボット大会（～25日）
- 11月27日 (財)富山県新世紀産業機構と韓国・大邱テクノパークが交流協定締結
- 11月29日 とやま棚田フォーラム
- 12月 1日 深層水フェア（～20日）
- 12月 3日 12月定例会議（～19日）
深層水フォーラム
- 12月10日 国道8号入善黒部バイパス 四十八ヶ瀬大橋開通
- 12月15日 高校生きらめきフェア（～16日）



日本、中国、モンゴル、韓国、ロシアの女性の参加のもと、北東アジア二十一世紀女性会議が十月に開催され、世界の平和と繁栄に向けた循環と共生のメッセージ「富山宣言」が採択されました。



富山県民新世紀計画を四月に策定。県民新世紀フォーラムを開催するなど、計画の普及に努めました。また、個別の計画を策定しました。

新時代の行政運営

富山県情報公開条例の見直しを行い、六月に全面改正しました。今年四月から施行されます。

富山県市町村合併支援連絡会議を設置するなど、市町村等の自主的・主体的な取り組みを支援しました。

人材
県民男女共同参画計画、新県民ヘルスプラン、県民歯の健康プラン、新世紀スポーツプラン、生涯学習新世紀構想、新科学技術プラン
生活
第7次交通安全計画、全県域下水道化新世紀構想
環境
産業廃棄物処理計画、花と緑の新世紀プラン、総合雪計画
産業
農業・農村新世紀プラン、農山漁村女性プラン、森林・林業新世紀ビジョン、水産業新世紀プラン、第7次職業能力開発計画

地方集権の時代にふさわしい行政システムの確立をめざし、行政改革推進方針に基づく取り組みを積極的に進めました。

- ・組織の見直し…総務部と企画部を再編統合した経営企画部や交通政策課、新幹線建設課、行政システム改革班等の設置
- ・定員の適正化…定員適正化計画をふまえた職員数の抑制
- ・業務改革の推進…民間委託の拡大など事務事業の見直しによる経費節減
- ・財政健全化の推進…経費の節減合理化や事業の重点化、県債の新規発行の抑制等
- ・政策評価の試行…施策や事業の成果などを評価する政策評価の試行を実施（平成十四年度から本格実施）

新たな将来設計を抱き 「大工の卵」ただ今実習中



富山国際職藝学院
建築職藝科に学ぶ
学生たち

左より
ごとう まさひこ たなだ あつこ
後藤 雅彦さん、棚田 敦子さん、
いなば けいいちろう こうき しなご
稲葉 啓一郎さん、幸喜 科子さん

富山国際職藝学院は、日本伝統の技を継承しながら、21世紀にふさわしい建物づくり、庭づくりに携わる専門家の育成をめざし、平成8年に開校したユニークな専門学校。建築と造園の実習コースが設置され、生きた技と知恵が学べる学校は全国唯一であり、現在ここに学ぶ学生の約6割が県外出身者。全国各地から、さまざまな経歴を持つ人が集まり、夢を実現するために技と心を磨いている。



外壁の下見板を取り付ける。水平になっているかをきちんとチェック。

金槌の音が響く現場が教室

職人の技と心を次代に継承するため、これまで前例のない実践主義の学習システムを取り入れた富山国際職藝学院の取り組みは、開校以来全国的に注目を集めている。各種メディアで、指導にあたる棟梁や学生たちの姿が紹介される機会も多く、それがきっかけで、この学院を志望する人も少なくなない。

後藤雅彦さんもその一人。都市整備公団に六年間勤務した後、木造住宅をつくる夢を捨てきれず、テレビ番組で知ったこの学院に入学した。

「自分で設計もしたいのですが、それには、まず現場を知ることが大切だと思って決めました。自分の手でつくり、少しずつ出来上がっ

ていく姿が見えるのが面白いですね」と、現場仕事の醍醐味に触れる毎日だ。現在、建築職藝科五期生たちは、設計段階から取り組んだ本格住宅を立山町で建築しており、金槌の音が響く現場が、彼らの教室なのだ。

強い木造を、神戸にも、沖縄にも建築中の住宅は、解体した材料を再利用した再生住宅。それも二回目の再生となる。いい材料をくり返して生かす技に、伝統工法の素晴らしさを改めて認識する実習だ。

そんな伝統の日本家屋にそこが、産業用ロボットのプログラムから転身したのが、兵庫県出身の棚田敦子さん。

「震災のときに木造はダメだといっイメージが安易に生まれてしまいましたが、木造本来の強さを神戸でも見直してもらいたいです」と話す。

大学で建築を学んだ沖縄県出身の幸喜科子さんも、「戦後の沖縄の建物は、ほとんどコンクリート造りなので、ここで学んだ伝統工法をもとに、台風にも強い木造住宅をつくりたいと思っています」と、雪国で培った経験を生かし、南国沖縄の風土に合った家づくりを夢みている。

棟梁の口癖は、「十年早い！」

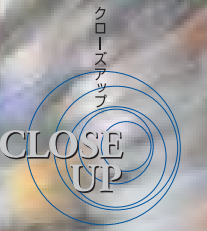
それぞれの夢を抱いて全国から集まった大工の卵たちにとって、この学院を卒業しても、まだまだ修業は続く。女性たちには、男性社会で働く厳しさもある。

しかし今、現場で仕事に取り組む姿はいきいきとして明るい。棟梁の「十年早い！」という口癖を聞くのも、どこか楽しげだ。

「なかなか上達しないけど、あせらずやっつけていこうと思っています。自分のやりたいことだから、つらいこともストレスもありません」と話す上市町出身の稲葉啓一郎さんの言葉に、大きくうなずく学生たち。今はまだ基礎の基礎を積んでいる最中だが、その強い志で、それぞれの仕事をしっかりと築いていくことだろう。



施主と相談しながらプランを練り上げ、5月の完成をめざして施工する。伝統工法を現場で学びながら、体で覚えていく学生たち。



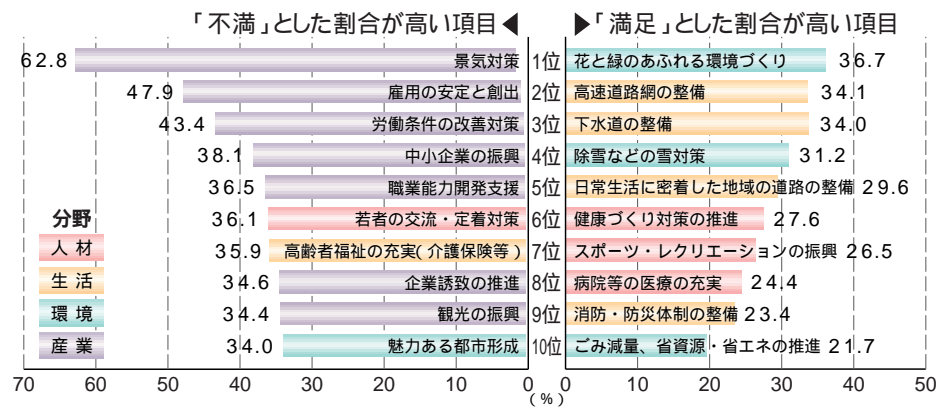
平成13年度 県政世論調査



県では、県民の皆さんが県政や日常の諸問題にどのような関心や期待をお持ちか、その状況を把握し、県政を進めるうえでの基礎資料とするため、毎年、県政世論調査を行っています。32回目を迎えた今回は、県内の成年男女1200人を対象に、次の項目について、調査員による個人面接方式で調査を行いました(回収率80.1%、回収数961人)。

調査項目		
1. 施設の利用	5. スポーツ	9. 農産物
2. 施策の満足度	6. ボランティア	10. 富山県の観光
3. 県政への要望	7. 犯罪の予防	11. 公共事業に対する県民参画
4. 健康づくり	8. 情報化施策	12. 行政改革

「満足」・「不満」とした割合が高い項目(上位10項目)

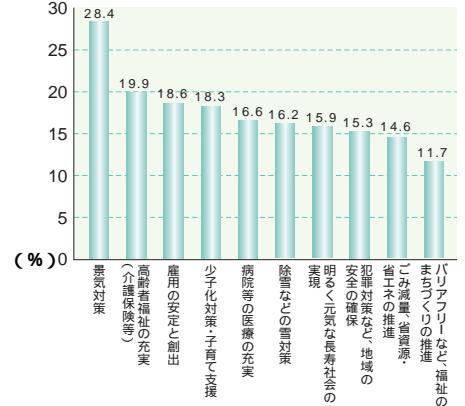


施策の満足度
満足度トップは「花と緑のあふれる環境づくり」。県の施策の満足度合いについて聞いたところ、「花と緑のあふれる環境づくり」が三六・七%と最も多く次いで「高速道路網の整備」三四・一%、「下水道の整備」三四・〇%の順となっています。これを分野別の

県政への要望・上位5項目の時系列比較(平成9~13年度)

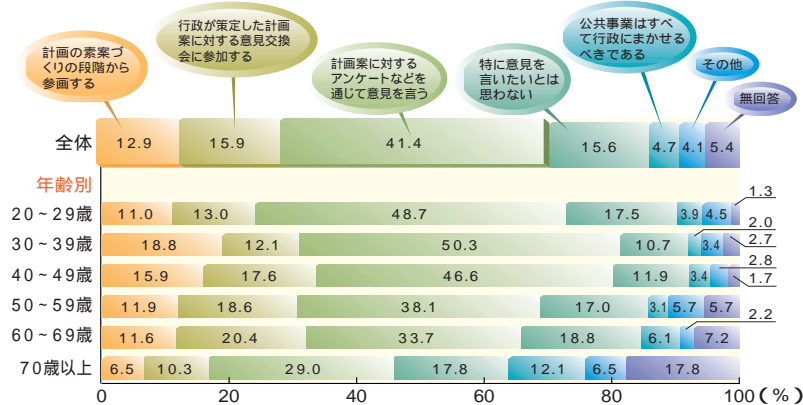
	H9	H10	H11	H12	H13
1位	高齢化対策 (34.4)	社会福祉 (32.4)	社会福祉 (29.5)	社会福祉 (29.8)	景気対策 (28.4)
2位	物産・消費生活 (28.3)	高齢化対策 (28.7)	景気・経済対策 (26.0)	高齢化対策 (26.7)	高齢者福祉の充実 (19.9)
3位	社会福祉 (26.8)	景気・経済対策 (25.5)	高齢化対策 (25.6)	子育て環境の整備 (25.1)	雇用の安定と創出 (18.6)
4位	医療・保健衛生 (22.7)	ごみ減量、省資源・省エネ (18.8)	子育て環境の整備 (16.6)	青少年の健全育成 (22.1)	少子化対策・子育て支援 (18.3)
5位	ごみ減量、省資源・省エネ (19.7)	物産・消費生活 (17.6)	物産・消費生活 (15.9)	景気・経済対策 (19.9)	病院等の医療の充実 (16.6)

県政への要望(上位10項目・複数回答)



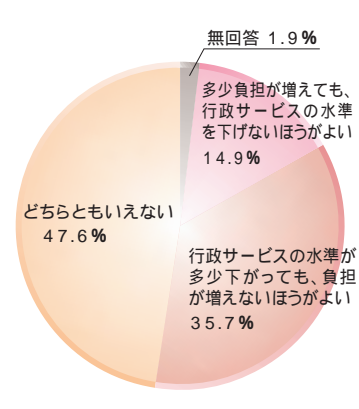
公共事業に対する県民参画
計画づくりに参加したい割合が約七〇%
公共事業への参画意向について聞いたところ、「計画案に対するアンケートなどを通じて意見を言う」が

公共事業の計画づくりへの参加意向



四一・四%と最も高くなっており、素案づくりといった最初の段階からかかわることより、むしろアンケートといった比較的気軽なかわり方が望まれています。
また、公共事業の計画づくりに何らかの形で参加したいという割合が約七〇%となっています。
県では、県民のニーズに合った内容の施設を効率的に整備するため、計画案に県民の意見をできる限り反映させる方法を検討していきたいと考えています。

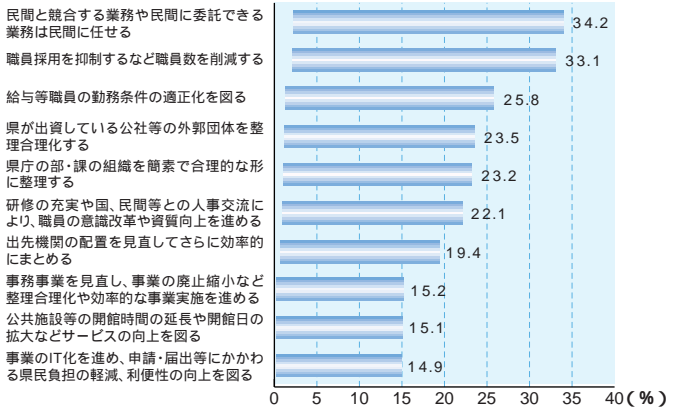
行政改革に対する考え方



また、優先的に取り組む課題について聞いたところ、「民間と競合する業務や民間に委託できる業務は民間に任せる」が三四・二%と最も多く、次いで「職員採用を抑制するなどの職員数を削減する」が三三・一%となっています。

行政改革
優先的に取り組む課題は「民間委託の推進」がトップ
今後、さらに行政改革を進め、経費の節減合理化に努めてもなお、行政サービスの水準と県民負担との関係を見直す必要がある場合について聞いたところ、「行政サービスの水準が多少下がっても負担が増えないほうがよい」が三五・七%、「多少負担が増えても、行政サービスの水準を下げないほうがよい」が四四・九%となっており、「どちらともいえない」が四七・六%と最も多くなっています。

行政改革を進めるにあたって優先的に取り組むべき課題(上位10項目・複数回答)



県では、民間との役割分担を明確化し、簡素で効率的な行政を進めることで、新しい時代にふさわしい行政システムの確立をめざしていくことにしています。

「景気対策」が昨年の五位から一位にランクアップ
県の施策で県民が力を入れてほしいと思うもの上位三位は、「景気対策」、「高齢者福祉の充実」、「雇用の安定と創出」でした。選択肢の項目が異なるため単純比較はできませんが、昨年五位の「景気対策」(昨年は「景気・経済対策」が一位に、十位の「雇用の安定と創出」(同「雇用確保対策」)が三位に順位を上げるなど、景気の低迷とそれに伴う雇用状況の深刻さが背景にあると考えられます。

また、昨年十六位の「犯罪対策など、地域の安全の確保」(同「地域の安全(防犯)対策」)が八位にあげられるなど、生活安全面での不安の広がりがうかがえます。

一方、不満に思っている施策は、「景気対策」が六一・八%で最も高く、次いで「雇用の安定と創出」四七・九%、「労働条件の改善対策」四三・四%の順となっており、十項目中七項目が「産業」分野となっています。

県では、時代とともに変化していく皆さんの要望を常にとらえながら、これからは県民の皆さんの立場に立った県政を進めていくことにしています。
「県政世論調査報告書」は、県情報公開窓口、県立図書館、県庁広報課でご覧いただけます。
問合せ:ご意見は、県庁広報課まで
☎076(444)3133

県民のひろば

県では、県民の皆さんの声を県政に反映させるため、広聴活動に力を入れています。今回は、皆さんから寄せられたいくつかのご提言やご意見に対する県の考えや取り組みを紹介します。

高齢者への配食サービスを充実してほしい！(50代 男性)

食事を作るのが困難な高齢者世帯に、学校給食施設などを利用した配食サービスを実施すればいいと思うのですが。

高齢者などへの配食サービスは、現在、28市町村で民間業者や市町村の社会福祉協議会などが地域の实情に合わせて行っています。県では、このサービスに対して支援していますが、学校給食施設などを利用することについては、施設の稼働状況を踏まえ、各市町村が判断することになっています。配食サービスは、調理が困難な高齢者の皆さんに栄養のバランスのとれた食事を提供するだけでなく、高齢者の安否確認を定期的に行うことができる点からも重要であり、引き続き市町村への支援を行い、効率的なサービスが提供されるよう努めていきます。

厚生部高齢福祉課
☎ 076(444)3205



農業・農村の維持、後継者の確保が県政の課題！(70代 男性)

農家の現状は、高齢化が進み、用水路、農道の管理も困難です。いかに農業・農村を維持し、後継者を確保していくかが県政の課題だと思うのですが。

県では、新規就農者の確保と育成を施策の柱の一つとして、新規学卒者から中高年など多様な就農希望者の相談に応じ、実践的な技術・経営研修を行っています。また、地域の農業を維持していくために、担い手のいる地域では、用排水路の管理などを地域ぐるみで行うしくみを維持しつつ、農地の担い手への集積を図っています。担い手のいない地域については、農作業などを集団で実施する集落営農の取り組みや経営の合理化を奨励しています。引き続き、効率的、安定的な農業経営体の育成を推進し、状況に応じた経営指導や機械・施設の資本整備に対する支援を行っていきます。

農林水産部企画管理課 ☎ 076(444)9622



歩行者に配慮した街づくりを！(20代 女性)

ベビーカーを押しながら、街を歩いていると、歩道が狭く電柱があるところなどは、通るのに大変苦勞し、とても危険に感じます。また、地下道を通るときもスロープがないところがあります。歩行者に配慮した街づくりをしていただけないでしょうか。

県では、歩行者の安全で快適な通行を確保するため、歩道拡幅や道路の改築に併せた歩道設置に取り組んでいます。また、既存の歩道で傾斜が急なところを改善するなどの対策事業を進めています。県では、皆さんのご意見を道づくりに反映する「とやまのみちフレッシュアップ事業」を進めるなど、利用者の立場に立った歩道の整備に努めています。具体的には、電柱などの支障物を移設、側溝、路肩のスペースを歩行空間として活用、段差や勾配の大きな個所の解消、などを行っています。今後とも安全で快適な歩道整備に努めていきますので、皆さんのご意見やアイデアをお聴かせください。

土木部道路課 ☎ 076(444)3319

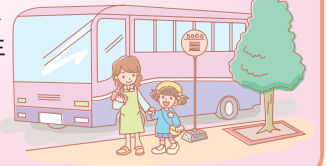


路線バスを確保して！(70代 男性)

バスの運行回数が減少しており、子どもの通学の送迎に苦勞しています。子どもや車を運転できない人などの交通弱者のために、路線バスの運行回数を確保できないでしょうか。

マイカーの普及や少子化の進行などにより公共交通機関の利用者は年々減少しています。特に路線バスにおいては、ここ10年間で半減するなど大変厳しい状況にあります。県では、住民生活に欠くことのできない民営・公営バスの運行への補助や市町村が行うコミュニティバスの実験運行などの取り組みに対する支援を行っています。今後とも、県、市町村、交通事業者、経済界や利用者の代表などで構成する富山県公共交通利用促進協議会などを通じ、公共交通の利用促進や活性化を図り、生活路線の確保に努めていきます。

生活環境部交通政策課
☎ 076(444)3123

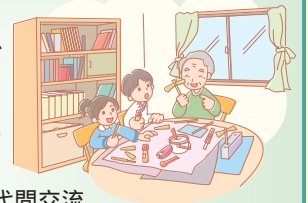


もっとお年寄りと子どもの交流を！(60代 女性)

お年寄りにとって、子どもは何よりの元気のもとであり、子どももお年寄りにかわいがられることで笑顔も多くなると思います。児童館などを利用して、もっと世代間の交流を図ればいいと思うのですが。

子どもたちが高齢者と交流することは、子どもたちの思いやりの心を育てるとともに高齢者にとっても生きがいになることから非常に重要なことと考えています。県では、市町村の児童館整備に対して助成するとともに、児童館が行うふれあい活動や市町村が行うスポーツ・レクリエーション大会などを支援することで、世代間交流を推進しています。また、高齢者の豊富な経験や知識が地域社会に生かされるよう、紙風船や竹とんぼ、陶芸など、郷土文化や技能を伝承していく人材の育成に努めています。これからも、子どもたちが高齢者をはじめ地域の人たちと交流できる活動を支援していきます。

厚生部児童家庭課 ☎ 076(444)3209 厚生部高齢福祉課 ☎ 076(444)3204



これからも次の方法で、いろいろな声をお寄せください。

知事へのはがき
県庁窓口や県刊行物センター(県民会館1階)市町村役場窓口へ備え付けてあります。

県民相談電話・FAXなど
TEL 076(431)3131 時間外は留守番電話
FAX 076(444)3300
電子メール koho@pref.toyama.jp

問合せ・ご意見は、
経営企画部広報課まで TEL076(444)3133

近代美術館

富山市西中野町116-112
☎076(421)7111

トライ・アート2002 ミライズム空間
【2/9(土)~3/24(日)】
一般300円/高・大200円/小・中150円

生誕100年記念 荻須高德展
【2/9(土)~3/24(日)】
生涯を通して、歴史あるパリの街角を愛情込めて描いた洋画家・荻須高德の作品を紹介します。一般900円/高・大650円/小・中450円
いずれも常設展示もご覧になれます。

9:30~17:00(入館は16:30まで)
☎月曜(1/14、2/11は開館)・祝日の翌日、1/21~2/7
常設展示観覧料 一般200円 高・大160円 小・中100円

水墨美術館

富山市五福777
☎076(431)3719

正宗 ~日本刀の天才とその系譜~
【2/9(土)~3/10(日)】
長い日本刀の歴史の中で、現在でもよく知られている名工・正宗の作品とその系譜をたどります。
一般700円/高・大500円/小・中350円
常設展示もご覧になれます。

9:30~17:00(入室は16:30まで)
☎月曜(1/14、2/11は開館)・祝日の翌日、1/22
常設展示観覧料 一般200円 高・大160円 小・中100円

中央植物園

婦中町上樋田42
☎076(466)4187

企画展「干支にちなんだ植物」
【2/16(水)】

日曜植物案内
【2/3(日)11:00~12:00】

「デジカメで花を撮ってみよう」
【2/10(日)10:00~13:00】
申込みは情報工房まで TEL 076(444)7887
いずれも入園料のみで観覧・参加できます。

9:00~16:30(入園は16:00まで)
☎木曜・祝日の翌日
入園料 一般600円 小・中300円

立山カルデラ砂防博物館

富山地方鉄道立山駅前
☎076(481)1160

写真展「レンズが見た立山カルデラ」
【1/10(木)~2/11(祝)】無料

フィールドウォッチング「立山の雪を体験しよう」
【2/17(日)13:30~16:00】
ペットボトルを使って雪の結晶作りに挑戦し、屋外で2m近い深雪を体験します。
定員/20名
参加費/無料 要申込 2/15まで

9:30~17:00
☎月曜(1/14、2/11は開館)・祝日の翌日、2/19~23
常設展示観覧料 一般400円 高・大320円 小・中200円

県民公園太閤山ランド

小杉町黒河477416
☎076(56)6116

第17回左義長祭り
【1/14(祝)11:00~15:00】
お年玉福引(対象/園児、小学生)先着500名おしるこサービス 先着1,000名

第11回冬の親子ふれあい大会
【2/11(祝)9:00~13:00】
親子で楽しめるいろいろなゲームを行います。
参加費/大人600円/子供400円(昼食代込み)
要申込 2/4まで うちばき持参

9:00~17:00
☎火曜・祝日の翌日
入園無料(駐車料金は3/31まで無料)

こどもみらい館

小杉町黒河(太閤山ランド内)
☎076(56)9000

こども歳時記「お正月」
【2/3(日)】
今年の干支「午」にちなみ、馬をモチーフにしたもの作りを楽しめます。
材料代 100~200円

パペットワールド
【2/17(日)、23(土)、24(日)、3/3(日) 13:30~】
全国各地で活躍するプロの人形劇団による公演を行います。

9:30~17:00(☎火曜・第4水曜、祝日の翌日) 入館無料

とやま健康パーク

富山市友杉151
☎076(428)0809

生命科学館公開実験
「塩分のとりすぎ注意！」
【2/9(土)、10(日)、23(土)、24(日) 15:00~、16:00~】
塩分計でラーメンの汁などに含まれる塩分量を測定します。
生命科学館の入場料が必要です。

☎月曜(1/14、2/11は開館) 1/15、2/12
健康スタジアム 10:00~22:00(日・祝は~19:00)
1日1,800円/3時間 1,500円/2時間 1,000円
生命科学館(展示場) 9:30~17:00 200円
屋外健康づくり施設 9:30~17:00 無料
小・中学生は半額、幼児は無料です。

自然博物館ねいの里

婦中町吉住111
☎076(469)5552

特別展示「野鳥写真展」
【~1/28(月)】
ねいの里が所有する野鳥の写真を展示します。

自然観察会「古代食を作り、味わう」
【2/10(日)9:00~13:00】
縄文時代の話を聞き、古代米、トチ、そばなどを実際に石臼で挽いたあとに味わいます。
対象/小学生以上 材料代300円
定員30名 要申込 2/9まで

9:00~16:00
☎火曜・祝日の翌日
入園無料

県民会館

富山市新総曲輪4118
☎076(432)3111

富山ストリングオーケストラ
【2/16(土)開演19:00~】
国内外で活躍する本県出身の若手演奏家で結成されたストリングオーケストラによる本格的な室内楽公演を行います。
出演/富山ストリングオーケストラ
指揮・ピアノ/迫昭嘉
一般2,500円(当日3,000円)/
高校生以下1,000円(当日1,500円)
全席自由

新川文化ホール

魚津市吉津110番地
☎076(523)1123

第4回にいかわ美術展
【2/9(土)~17(日)10:00~18:00】無料
新川地域の市・町展で選ばれた日本画、洋画、彫刻、写真などの優秀作品を展示します。
2/12(火)は休館

ウインターマーチング2002
【2/11(祝)開演14:00~】
県内のマーチングバンドによる華やかなステージショーを行います。
一般800円/小学生以上500円 全席自由

砺波青少年の家

砺波市徳万字赤坂1715
☎076(33)72002

里山に親しむ「ふゆ」のつどい
【2/9(土)~10(日)】1泊2日
かんじき体験や雪像作り、歩くスキーをして、冬の里山の自然に親しみます。
対象/小中学生とその保護者
参加費/500円 定員/50名
要申込 1/26まで

8:30~17:15
☎月曜(1/14は開館) 祝日の翌日、1/16
日帰り利用料/90円
宿泊料/小・中340円 25歳以下670円
26歳以上1,020円

黒部青少年の家

黒部市窪野97
☎076(523)240

冬! 黒部の自然に親しむつどい
【2/9(土)~10(日)】1泊2日
かんじき体験や歩くスキーをして、冬の自然に親しみます。
2/10のみの日帰り参加もできます。
対象/小学3年生以上、一般
参加費/1,000円(日帰り参加費700円)
定員/50名(日帰り定員30名) 要申込 1/11~31

8:30~17:15
☎月曜(1/14は開館) 祝日の翌日、1/16
日帰り利用料/90円
宿泊料/小・中340円 25歳以下670円
26歳以上1,020円

紹介した各施設では、高齢者や障害者等が快適に利用できるよう、車いす用トイレや出入口段差解消のためのスロープを設置しています。



とやま 音のある 風景

Vol.39

風を揚げる掛け声と
うなり
大門町

夢や願いをのせて、
天高く鮮やかに舞う。

庄川の右岸に位置する大門町には、風揚げの伝統が息づく。

その昔、庄川の氾濫と藩の規制により橋を架けることが難しく、川は船で渡るしかなかった。江戸時代末期、何度も藩に願い出た町人の熱意と協力のもと、大橋はついに完成。町の人々は、大橋から風を揚げてこの快挙を讃えたという。これが、大門の風揚げの始まりとされる。昭和五十四年からは、「越中だいもん風まつり」が開催され、だるまや武者絵の角風や遊び心に富んだものなど、数千の風が五月の空で技や楽しさを競う。大風は、風をよむ人、合図を出す人、十数人の揚げ手の呼吸が合ってはじめて空高く揚がっていく。

「ソール」。掛け声に全員がタイミングを合わせる。強い風の抵抗、踏ん張る足。ピン、ピン。風のなかをうなりが伝わってくる。

子どもたちの健やかな成長を願って、六畳から十二畳、なかには三十六畳もの大風が空を舞う。そこにあるのは無心の楽しさと喜びの心。風はいつの時代も新しい未来への夢をのせて揚がる。

県内五十箇所の「とやまの音風景」を収録したCDは市町村図書館などでお聴きになれます。

とやまの情報お伝えします!【1月の県政番組】10日以降) タイトルは、いずれも仮題です。

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ
毎週日曜 11:00 ~ 11:30

13日 オラッチャのとやま弁
20日 雪との共生
27日 あたまキトキト大作戦

とやまDASH! 富山テレビ
フォーカス・イン 毎週日曜 9:00 ~ 9:30

13日 今年の干支
20日 我が町の自慢
27日 冬の健康法

富山が元気。 チューリップテレビ
見たモン勝ち2 第4日曜 10:00 ~ 10:52

27日 冬こそスポーツ! 広がる地域スポーツの輪

とやま県聞録 FMとやま
毎週月曜 ~ 木曜 11:30 ~ 11:40
毎週土曜 11:30 ~ 11:55

このほか、新聞広報やインターネットでも
県政情報をお伝えしています。

新聞広報「県からのお知らせ」

1月19日・26日の朝刊各紙に掲載予定

富山県ホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/>

県広報とやまのホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/toyama/saishin.htm>

県政クイズ

平成13年度「県政世論調査」を実施したところ、県民の皆さんが最も満足と感じている県の施策は何だったでしょうか。

「とのおあふれる環境づくり」とお答えください。

答えはクローズアップを読めばわかります

応募方法

ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本誌の感想を記載。

あて先/〒930-8501(住所不要)

富山県庁広報課「県広報とやま1月号」

クイズ係

締切/1月31日(木)(消印有効)

正解者の中から20名の方に、「とやま健康パーク」の1日利用券をペアでプレゼントします。